

平成28年10月23日

八ヶ岳南麓里山再生・農業支援友の会  
会員の皆様へ

## 《10月度農場便り》

### 「繁忙期に手痛い腰痛」

平素は大変お世話になり有難うございます。先ずは10月度の「発送案内」、「農場便り」のお届けが大変遅くなり心よりお詫び申し上げます。ここ大泉は八ヶ岳に向かって圃場整備された収穫も終わった田んぼが今シーズンの農の終わりの景観を呈しています。但し我が農場の田んぼ2枚には天日干しのハサ掛けが残り脱穀を待っています。雨除けのブルーのシートがひときわ目立っています。というのも今月10日前後に過労から腰の筋を外し韮崎の自宅近くの県外からも患者が来るほど有名な藤原整骨院で治療を受けたのですが1週間は安静にという忠告を繁忙期で守れず悪化してしまいました。歩くことも儘ならぬ状態になってしまいました。本来3名で行う予定の田畑を春から一人で取り組んだ結果が最悪の状況を迎えてしまいました。兎も角、今は治療に専念し回復することが先決です。回復状況の見通しが見定められずご案内が出来ずご迷惑をお掛けしている次第です。28日に再診を受けその結果作業に取り掛かれればと希望しています。最悪の場合11月初旬にずれ込む場合はご理解のほど宜しくお願い申し上げます。残っている脱穀作業の他夏野菜のトンネル撤去、黄色くなり始めた大豆の収穫、小麦の播種と初冬に向かいやることは山積んでいます。会員の皆様のお陰で稲作、畑作に必要なほとんどの農業機械は中古と言え揃えることが出来ました。但し自然栽培の稲作では天日干しが必須となっています。農場で提供している化学物質過敏症の方々はコンバインで収穫し機械乾燥したお米はアレルギーを発症するとのことです。稲刈り、天日干し、脱穀、資材の片付け等数倍の時間と手間が掛かります。無農薬、無肥料で自家製育苗土を作り種籾から育苗、田植、除草と前述の収穫まで土、水、太陽の自然の恵みと農家の汗の賜物は経済的、作業的効率を超えた人に優しく美味しい食味を提供してくれるのでしょうか。一日も早く完治して会員の皆様に美味しいお米、「亀の尾」、「ササシグレ」、もち米の「コガネモチ」を順次お届けしますので宜しくお願い申し上げます。それにしても我々の身体は頑強のようで脆く、脆いようで頑強で精巧に出来ているので無理は禁物と実感しているところです。

・稲刈り（10月15日）



・天日干し（10月16日）



メール [yamaki.yoshio@peach.plala.or.jp](mailto:yamaki.yoshio@peach.plala.or.jp)

携帯080-3080-3017